

毎日むかわ町食育事業の取組として、皆様から応募頂いた「むかわ飯」の作品をご紹介します。  
むかわ飯とは：むかわ町産の食材をメインとした、家庭で簡単に調理が出来る料理のこと。むかわ町公式FaceBookにおいても、食育の情報を毎日発信していきます。



## 今日のむかわ飯 レタスの肉巻き

### 材料 2人分

- ・レタス・・・1玉
- ・豚肉(薄切りで長いもの)・・・300g
- ・塩・・・少々
- ・小麦粉・・・適量
- ・サラダ油・・・適量

### タレ用

- 醤油・・・大さじ2
- みりん・・・大さじ2
- 酒・・・大さじ2
- 砂糖・・・大さじ1
- 生姜・・・1かけ

### 作り方 手順

- ① ●を混ぜ合わせてタレを作っておく
- ② レタスを太めの千切りにする
- ③ ②を塩もみして、しんなりしたら水洗いし、しっかり手で絞り、水分を抜く
- ④ ③を適量手に持って握り、豚肉を巻く
- ⑤ ④に小麦粉をまぶし、油を敷いたフライパンで焼く
- ⑥ 焼き色がついたらタレを入れて全体に絡める



提供頂いた写真

市販の焼肉のたれでも  
おいしいですよ！



# 未来につなぐ 鵠川ししゃもプロジェクト

河川産着卵調査(後編) 提供:公益社団法人 北海道栽培漁業振興公社

・・・先月号では、シシャモが河川に遡上し、産卵に至るまでの行動についてご紹介しました。今回は、河床へ産み付けられた卵の調査方法と、これまでの調査から分かってきた傾向についてご紹介します。

産着卵(河床に産み付けられた卵)の出現範囲と個体数密度を確認するための調査方法は、次のとおりです。①河川内の産着卵採集箇所を決め、そこへ調査船、あるいは徒歩により向かいます。②産着卵採集専用である持ち手と採集枠付きのサーバーネット(枠:25cm<sup>2</sup>、網目約0.3mm;写真)という道具を用い、枠を河床材料に当てて、枠内の卵を砂礫ごと採集します。③採集箇所の水深、流速(河床付近)、河床材料の粒径(砂や礫の直径)を計測し、後日、産着卵が多く出現する条件を解析します。④採取試料は、ビニール袋に入れて実験室に持ち帰り、河床材料の中から卵を探し出します。持ち帰るときは、卵が腐らないように薬剤を用います。⑤地点ごとに卵を数えます。

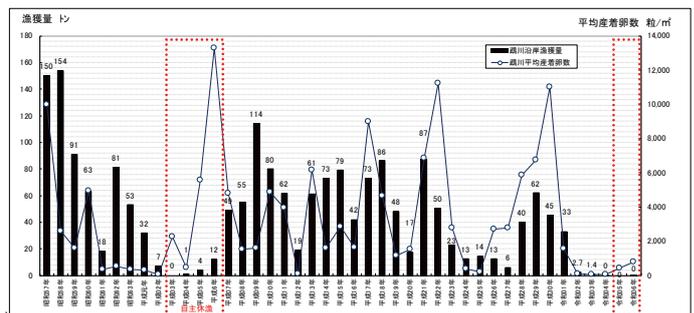
このような調査を毎年継続し、年別の平均産着卵密度、出現範囲および出現箇所の河川条件等の変化を確認しております。ここで、鵠川における平均産着卵密度(1m<sup>2</sup>当たり)と沿岸漁獲量の経年変化をご紹介します(図1)。平均産着卵密度は、自主休漁最終年の平成6年に最高値を示しましたが、令和2年以降は最低水準が続いております。その経年変化は、沿岸漁獲量の増減に伴う傾向を示しました。また、これまでの調査研究により、産着卵が多い場所の特徴は、海水がなく(塩分は最大でも海水の30%程度まで)、水深が深め(1m前後)、河床付近の流速が毎秒60cm未満、河床材料の粒径が約0.5~5mmであることがわかりました。

今後は、休漁等の資源保護に伴う効果や繁殖場所の河川環境保全に、各調査結果を役立てたいと考えております。



シシャモ産着卵採集用の枠付きサーバーネット

(図1) 鵠川における平均産着卵密度と沿岸漁獲量の経年変化



(産着卵密度:1m<sup>2</sup>当たりの卵数、平成3~6年の漁獲量;資源回復状況を確認するための試験操業時)